

# もくじ 2年生

はなまのていふの使ひかた

◆	「は」の使ひかた	2
◆	「を」の使ひかた	3
◆	「は」の使ひかた	3
◆	「を」の使ひかた	4
◆	「は」の使ひかた	6
◆	「を」の使ひかた	7
◆	「は」の使ひかた	8
◆	「を」の使ひかた	10
◆	「は」の使ひかた	11
◆	「を」の使ひかた	12
◆	「は」の使ひかた	14
◆	「を」の使ひかた	15
◆	「は」の使ひかた	16
◆	「を」の使ひかた	18
◆	「は」の使ひかた	19
◆	「を」の使ひかた	20
◆	「は」の使ひかた	24
◆	「を」の使ひかた	25
◆	「は」の使ひかた	26
◆	「を」の使ひかた	28
◆	「は」の使ひかた	29
◆	「を」の使ひかた	30
◆	「は」の使ひかた	32

◆	「は」の使ひかた	33
◆	「を」の使ひかた	34
◆	「は」の使ひかた	36
◆	「を」の使ひかた	37
◆	「は」の使ひかた	38
◆	「を」の使ひかた	40
◆	「は」の使ひかた	41
◆	「を」の使ひかた	42
◆	「は」の使ひかた	46
◆	「を」の使ひかた	47
◆	「は」の使ひかた	48
◆	「を」の使ひかた	50
◆	「は」の使ひかた	51
◆	「を」の使ひかた	52
◆	「は」の使ひかた	54
◆	「を」の使ひかた	55
◆	「は」の使ひかた	56
◆	「を」の使ひかた	58
◆	「は」の使ひかた	59
◆	「を」の使ひかた	60
◆	「は」の使ひかた	62
◆	「を」の使ひかた	63
◆	「は」の使ひかた	64

□は文章講解 ◆は文学・表記 ■は語句 ★は文法を表します。

「下リル」

◆	かなづかい・かたかなで書へことば	70
◆	回数・ひつじゅん・ぶつぎのしかり方	71
◆	ことばのいみ・合わさうたことば	72
◆	なかまの「ことば」	72
■	はなたいの「ことば」	72
■	いづしろな「ことば」	72
■	あらいすを「ことば」	73
■	いそあやうと「ことば」	73
★	文のほね組み・くわていへんさ	74
◆	ふつうの「ことば」	75
◆	かな字下リル かな字のいみ(1)~(6)	75
◆	かな字下リル かな字のかぎ(1)~(2)	85



# はなまるリトル

## 〈二年生〉 国語

### はじめに

四谷大塚では、小学校六年間を通して優秀児を育てる教育を行っています。その中で、一〜三年生を知能開発期と位置づけ、各教科の学習を通して知能を伸ばすことを目的に通信教育「リトルくらぶ」を平成八年四月からスタートしました。子どもの興味・関心・集中力を育み、考える力を伸ばすことがその基本方針です。しかし、知能開発を行う前提として、教科書の内容をしっかり理解しているかが大変重要になってくることはいまうまでもありません。

「はなまるリトル」は、各教科の内容を「家庭で効果的に学習でき、さらに自然に知能開発ができるように構成されています。ぜひ、本書の特色をご理解の上、ご家庭での学習に役立てていただき、お子様を「勉強もできる子ども」に育ててほしいと思います。

### この本の特徴

この本は、小学校二年生で学習する国語の内容を、基本から応用まで幅広く取り上げています。カリキュラムは学習指導要領をもとにして作成されていますので、学校の学習内容に加えて、二年生に必要な国語力の定着を図ることができます。

さらに基礎的な学習内容から発展した問題を考えさせることで、国語学習の理解を深め、国語のイメージを広げることを目的に構成されています。

長文読解では、子どもの興味をひくような日常生活に関する題材をテーマにした文章を取り上げており、語句や漢字の学習では、ゲーム感覚で取り組めるクロスワードパズルや漢字パズルなどを取り入れ、知能も伸ばす工夫がされているので、楽しく学習できます。

また、国語の基礎として重要な漢字・語句の力をつけさせるための「語句ドリル、漢字ドリル」が後半にまとめられています。繰り返し学習することでその力がつきやすくなります。

### この本の使い方・おうちの方へ

#### 【長文読解】

国語学習として欠かせない、長文を読んで理解し設問に答える問題です。単元ごとに学習のポイントやねらいを短くまとめてあります。これをしっかりと頭に入れて「きほんもんだい」に取り組むようにさせましょう。「れんしゅうもんだい」では、少し長めの文章を読み取ることで、その単元のねらいやポイントを定着させます。中には二年生としては高度な内容も含まれていますし、また、自分の言葉で表現させる問題もあります。自力で解けない場合は、学習のポイントを見直させたり、解説を参考におうちのの方がヒントを与えてあげるなどして、一緒に取り組んであげましょう。

※まとめの単元では、読解が難しい文章が紹介されています。挑戦する意欲を持たせることが大切ですので、一度で読み取れない場合は、段落で分けて考えさせたり音読させるなど工夫してあげましょう。

#### 【文字・表記】

国語による表現力や理解力の基礎を養うために、必要な言語に関する事柄を学習します。単元ごとにまとめて学習し、類題に取り組むことにより、自然に文字や表記に関する学力を定着させることができます。

#### 【語句】

身近な物事を通して、反対の意味や対照的な意味を表す語句があることを認識させたり、語句の性質や役割を類別することができるようにさせます。

#### 【文法】

文の組み立てを意識することにより、文を正確に理解し、表現する力を育てることが出来ます。また、普通の言葉づかいと丁寧な言葉づかいのちがいについても学習します。

#### 【語句・漢字ドリル】

二年生として大切な語句の意味や使い方に注目して整理し、定着させます。また、二年生で学習するすべての漢字の読み書きを練習させます。必ずマスターさせたい問題はかりですので、繰り返し練習させましょう。

#### 【解答・解説】

使いやすいように別冊になっています。お子様が問題をやり終えたら、おうちの方がチェックしてあげましょう。解説では国語の解法のポイントがわかりやすく説明されていますので、必ず確認下さい。

# 「は」「へ」「を」の出番は どこだ

(かなづかい)

① つぎの ①～③の せつ明の「は」「へ」「を」に ○を つけましょう。

① 「わ」と読む「は」

わたしは、七才です。

② 「ワ」と読む「は」

この はこは、人形の はこだ。

③ 「エ」と読む「へ」

自分の へやへ 行く。

④ 「オ」と読む「を」

大きな ねこを だく。



文の中で、ことばのあとにくっついて  
 「は」「へ」「を」は、  
 「ワ」「エ」「オ」と読むよ。

② つぎの 文の 正しい ほうを、○で かこみ  
 しましょう。

ぼくは、えきへ  
 わ、えきへ  
 友だちを  
 おを

むかえに 行く。

③ □に あてはまる ①～③の ひらがなを 書  
 きましょう。

① 「わ」か「は」

今日、なげをして あそんだ。

あした、な とびを しよう。

\*今日「あした」のような ことばの あとにつく「は」「は」「ワ」と読むよ。

② 「え」か「へ」

姉と、こう 行き、帰りに

図書かん よって 帰って きた。

③ 「お」か「を」

朝、顔 あらって、ごはん

食べて、お いそぎで 家 出た。

# こんなことば知ってる？ (1)

(ことばの いみ)

① 「」にあてはまることばを、から  
えらんで書きましょう。

① 今日 きょう 入学する 妹は、な  
かお 顔で 出かけて いった。

② よく 晴れた 日は、花だんの チューリッ  
プの いろ 色も に 見える。

③ 細い ほそ えだは に まがる。

しなやか あざやか 晴れやか

② 上の ことばに つづく ことばを、で  
むすびましょう。

① こわくて 足が ● **ア** はぐれる。

② 友だちと ● **イ** なつく。

③ 小犬が わたしに ● **ウ** すくむ。

④ 山に きりが ● **エ** 色づく。

⑤ 山の 木の 葉が ● **オ** 立ちこめる。

③ 「」にあてはまることばを、から  
えらんで書きましょう。

① 午後には  晴れるだろう。

②  雨が ふったら こまる。

③  雨が ふりませんように。

どうか まるで たぶん もし

## ためきくんと のぼったのは だれ？

ためきくんは、三人の うちの ひとり 一人と いっし  
よに 山に のぼりました。いっしょに のぼった  
人に ○を つけましょう。

( ) うさぎ：「だんだん

くらく なったわ。」

( ) ねこ：「しだいに

くらく なったよ。」

( ) きつね：「きゆうに

くらく なったな。」

その 日は、山に  
のぼると 確かに  
くらく なったんだ。



# 1

どう話  
物語

(1)

## いつのどんなことかな

いつどこで だれが 何を して  
いるのかを 読みとりましょう。

きほんもんだい

○つぎの文しよを 読んで、下のといに 答えなさい。

空 いっぱいの 朝やけで、あたりは うすいバ  
ラ色に そまっています。

のり子は、川原に キャンプに 来て いました。  
夏休みに なったら、家ぞくで キャンプに 行こ  
うと やくそくを して いたのです。

「朝食の おかずを つつて くるぞ。」

そう 言つて、お父さんは つりざおを もつて  
川の ようすを 見ながら、ゆっくり 歩いて い  
ます。弟も その 後を、あぶなっかしい 足どり  
で ついて いきます。

お母さんは、ごはんを たいたり、野さいの ス  
ープを 作つたり して、いそがしく うごき回つ  
て います。あたり 一めん、いい においが  
して きました。

(1) いつの できごとが 書いて ありますか。

に あてはまる ことばを 書きましょう。

-----

の

(2) どんな ようすが 書いて ありますか。いち

ばん よい ものの 記ごうを 書きましょう。

アのり子たち 家ぞくの 川原での

キャンプの ようす。

イ お父さんと 弟が 魚を つりに 行くよ

うす。

ウ 家ぞくが 楽しく あそんで いる ようす。

(3) お母さんは 何を して いますか。  に

合う ことばを 文しよの中 から 書きぬき  
ましょう。

-----

の じゆんび

れんしゅうもんだい

○つぎの文しようにを読んで、下のといに答えなさい。

ドーン、ドーン、ドーン。いきおいよく 花火が  
上がると、まっさおな 空に 白い けむりが ぼ  
つ、ぽつと うかぶ。今日は うんどう会だ。

「いやだなあ、五十メートル走。」

「あきら、びりだって がんばれば いいのよ。自  
まんじやないけど、お母さんは いつも びりだ  
ったのよ。」

お母さんの 話を 聞いて、何だか 少し 気が  
楽に なって きた。

いよいよ、ぼくたちの 五十メートル走の 番だ。  
むねが ドキドキと さわぎだす。スタートライン  
に ならばと、すぐに ピストルが 鳴った。ぼく  
は むちゆうで 走った。そして、六人中 三番目  
で ゴールに かけこんだ。

「お母さんより すごい！」

お母さんに ほめられて、とても うれしかった。  
思いきり 走り回りたく なった。

(1) 天気の種類がわかる ことばを 書きぬ  
きましよう。

(2) 何を した ときの ことが 書いて ありま  
すか。

で 走った ときの こと。

(3) 上の 文しようは、二つの 場めに 分ける  
ことが できます。二つ目の 場めの はじめ  
の 四字を 書きぬきましよう。


\*どこから 実さいに 走る 場めんに なって いるかな。

(4) 「お母さんより すごい！」と 言われた と  
き、ぼくは どんな 気もちでしたか。

気もち

# のばす 音と「じ・ぢ」「ず・づ」に ちゅうい (かなづかい)

① かなづかいが正しいほうに、○をつけましょう。

① おば  
う あ  
さん

② おじ  
う い  
さん

③ ふ  
い う  
せん

④ せ  
い え  
かつ

⑤ ど  
う お  
ろ



のばす 音に そえて書く 字は、のばす 音の だんに よって きまつて いるよ。

あだんの音 ↓あ  
い・えだんの音 ↓い  
う・おだんの音 ↓う  
とくに、え・おだんに ちゅういしてね。

② □の ことばの 中から、のばす 音の かなづかいが 正しく ない ものを 一つ 見つけ、正しく 直して 書きましょう。

けいかく めいじん おねいさん  
にねんせい よてい れいぞうこ

\*えだんで、「い」を そえないのは 一つだけ。

③ □の ことばの 中から、のばす 音の かなづかいが 正しく ない ものを 四つ 見つけ、正しく 直して 書きましょう。

おうじさま おうきい ほうき ほんのう  
おとうさん どうくつ とうい とうる

④ つぎの ことばの かなづかいの まちがいを 直して、正しく 書きましょう。

\*おだんで「う」を そえない ものを おぼえよう。

① つづく

② ちじむ

③ はなじ

④ ええが

## おうちの方へ

【はなまるリトル】の「語句・漢字ドリル」は、理解力や表現力を養うための基礎的な知識を定着させることに焦点を絞り作成されています。数多くの問題に触れることで、自然と語句や言葉に対する興味や理解が深まるよう配慮された教材です。

この「語句・漢字ドリル」を有効に活用することで、国語の基礎的な力がつき、総合的な読解力の向上にもつながります。

## 語句・漢字ドリルの特色

この「語句・漢字ドリル」は、【はなまるリトル】のカリキュラムをもとに作られています。

【語句ドリル】では、ここまで分散して学習してきた「文字・表記」「語句」「文法」の学習を項目ごとに集めることにより、それぞれの分野を整理して学習することができます（前ページ「対照表」参照）。お子様の苦手分野の克服にも役立ちます。

【漢字ドリル】では、例文の中で言葉の使い方を確認しながら、2年生で学習するすべての漢字の読み書きを練習することができます。

繰り返し使えるように、各ページの左上には「実施日」を書き込む欄を3回分作りました。その問題に答えるために必要とした時間と、正答した問題数を書き込む欄もあります。

おうちの方が記入してあげることで、お子様が緊張感をもって学習に取り組む環境を作ることができます。また、2回目以降の学習では、お子様の成果を評価する材料として利用してください。

## 語句・漢字ドリルの使い方

- ① 1ページが1回分です。実施日を記入し、時間を計ってあげましょう。
- ② 終わったら、かかった時間を記入し、答え合わせをしてあげましょう。
- ③ 正答した問題数を記入しましょう。
- ④ わからなかった問題や間違えた問題は、必ずもう一度やらせてみましょう。これによって、力がつきます。

\*繰り返し使うので本紙に答えを書き込ませず、別なノートを用意すると便利です。

### 2回目以降に注意すること

- スピードを上げることよりも、間違えずに解答することに重点をおかせましょう。前回までに間違えた問題は特に注意して取り組ませてください。
- 間違えが少なくなったら、1ページ10分以内で全問正解できるようになることを目安にしましょう（ページによって問題量や難易度が多少ちがいますので、ページごとに前回までより早くできるような目標を設けるのも効果的です）。

◎学校の予習・復習に活用したり、【はなまるリトル】の学習のあとの総仕上げとして活用してください。また、学期ごとの復習や、学年の総復習としても適しています。

◎【はなまるリトル】のここまでの内容との「対照表」を利用してください。長文読解と並行して学習させることで、学習内容の深い理解と定着につながります。



	実施日	時間	正答数
1	月 日	分	/15
2	月 日	分	/15
3	月 日	分	/15

# かなづかい・音の数

## かたかなで書くことば

① かなづかいが まちがって いる 字に ×を  
つけ、右に 正しく 書きましょう。

① わたしわ、お店え、魚お 買いに 行った。

② おうかみが とうって 行くのを 見て、お

とおとは おねいさんに しがみついた。

② つぎの ことばの 音の 数を 書きましょう。

れい

とけい

3

① でんしゃ

② チューリップと カーネーション

③ つぎの 文から かたかなで 書く ことばを

二つ 見つけて 右がわに — を 引き、かた  
かなに 直して 書きましょう。

道を 歩いて いると、後ろから きた 車が、

ぶつぶつと くらくしょんを 鳴らした。

④ □ の ことばを、①④に 分けて、かたか

① 外国から 入って きた もの。

② 外国の 人の 名前。

③ 外国の 国や 場しよの 名前。

④ 鳴き声や 音を あらわす ことば。

にゆうす ろんどん いそつぶ  
がちゃん いたりあ れすとらん  
すけつちぶつく ないちんげえる  
ほおほけきよ かせつとてえぶ